

第 190 回ペン川柳（お題＝火）令和 2 年 3 月 22 日

世話人：塚田 實（^だ々）

新型コロナウイルス感染症の拡大で 2 月の川柳会はお休みしました。3 月は全員の投句会を実施しました。

（*印は今月の互選五句、*は最優秀句）

1. 思い出す爪に火ともす過去でした（だし＝大野）→ 2 票

戦中・戦後はみんな生活に苦勞したそうです。その後の高度経済成長を経て今日があります。今や悠々たる人生を送っていらっしゃるだしさんにもこんな厳しい時があったのですね。

2. 火の酒をあおって凍えて大往生（安兵衛＝山縣）→ 2 票

ロシアでは、ウォッカ（火酒）を飲んで寝込んでしまい、翌日凍って発見されて大往生と言うのが多いとの作者弁。因みにノムさんはお風呂で倒れられたそうです。日本でも寒暖差には注意です。

3. 醜いぞコロナの火だね探しとは（零門＝松谷）→ 2 票

米中がコロナの火種をめぐってジャブを応酬しています。世界の二大国なのに、やはり作者の言うように醜い争いです。作者は投句後「火の神も恐れおののく山の神」を思いついたとの話がありました。これなら優秀句間違いなしでしたね。

- * 4. 歳重ね鉄火肌より桜愛（め）で（^だ々＝塚田）→ 5 票

昔は仁侠映画で片袖脱いで見得を切る女優さんに憧れましたね。今や歳を重ね花鳥風月に親しむようになりましたが、今年はコロナのおかげで花見もできませんでした。「桜愛で」は閉じ込められた男の希望です。優秀句に選ばれました。

5. 壁の街ブレーカ切り火を落とす（晃二＝安藤）→ 0 票

得票を得られなかったのは、内容が難しかったせいでしょうか。「壁の街」とは「ウォール街」のことだそうです。また、「ブレーカ」とは SEC の売買停止措置（サーキットブレーカー）だそうです。コロナの影響で、今回何度も発動されました。

6. 火の車お前の金でほら黒だ（井波＝稲宮）→ 1 票

作者弁によると「火の車は国の財政、お前の金は、民の持っている金で、ほら黒だは、ほらと大法螺の法螺をかけ、黒だは黒田総裁を暗示した」そうです。要するに「官でいくら赤字を出しても、全体は黒だという法螺をかけたつもり」との説明がありました。かなり捻った句ですね。

- * 7. 返納後乗り換えるのは火の車（曾山＝曾山）→ 6 票

曾山さん初参加で初入賞です。おめでとうございます。「返納後」は運転免許証の返納でしょうか。公共機関に乗り替えると、交通費が大変ですが、高齢者優遇パスなど利用すればかなり助かると思いますかどうか。

8. もみ消しと水掛け論で即鎮火 (火酒＝三春) → 3票
最近の国会論議をほうふつとさせますね。それで鎮火してしまうのも寂しいですね。もっと国民に分かり易く、納得できる議論をしてほしいものです。火酒さんは、8番と18番が再投票にかかりましたが、川柳子は圧倒的に18番を選びました。
9. 火に油注ぐ首相が飛ばすヤジ (明迷＝八木) → 6票
もう忘れた人がいるかもしれません。安倍首相が辻元議員との質疑で「意味のない質問だよ」とやじを飛ばしたことです。作者は結句は「下手なヤジ」若しくは「下衆なヤジ」が良かったかもしれないと言っています。高得票でしたが、明迷さんは17番で最優秀句に選ばれたので、ここは遠慮してもらいました。
10. IHコンロにも貼る「火の用心」 (我々好＝浜田) → 1票
なかなか面白い句でしたが、票が伸びませんでした。我が家もIHですが、スイッチを入れて暫く使わないと自動的に切れます。人間より信頼できます。
11. 老いてなお懲りずに燃やす恋の火種 (不言＝岩崎) → 1票
作者は川柳会の最長老ですが、この元気と情熱には感心します。下五が字余りなのが残念ですね。
12. もう待てぬ何処へ置くのか聖火台 (損得＝細谷) → 0票
現在も聖火台の設置場所は非公開のようです。しかし、最近の新型コロナウイルス感染症問題で、オリンピックそのものも約1年延期となりました。聖火はそれまで日本のどこかでこの問題が終息することを祈っているでしょう。
13. 火の用心老化進んでガス用心 (酔雅＝西川) → 2票
念のため作者に確認したところ「ガス」はやはり下の「ガス」でした。「出物腫物とところ選ばず」という言葉もあります。仕方ないですよ。
- * 14. 戦火知る世代も消えて再軍備 (不言＝岩崎) → 4票
戦火を知る世代もどんどん減ってきています。一方世界情勢も複雑で難しくなってきました。安全保障の問題も様々に議論されています。戦争の悲惨さは何としても避けたいところです。コロナは戦争以上の戦いですね。
15. 火の用心しても浮気は修まらず (酔深＝平尾) → 2票
酔深さんはいつまでも若いですね。その元気が長生きの秘訣です。でも本当に「火の用心」していますか。
16. 今一度焼けばっくに火がつくか (零門＝松谷) → 3票
愛妻家の零門さんにこんなことはあり得ません。再投票しましたが、残念ながら票が伸びませんでした。
- * 17. 火遊びが文春砲で火事になり (明迷＝八木) → 10票
東出／杏ちゃん事件をタイムリーに取り上げ、文句なしに最優秀句に選ばれました。作者は下五を「大火事に」にした方がインパクトがあったかなとコメントしています。そうかもしれません。ここは元句のままにしておきました。

- * 18. 火の用心？ どうせ我が家は火の車 (火酒＝三春) → 3票
火酒さんの家は「火の車」ではないと思います。しかし、川柳子は自分の生活を振り返り、この句に賛同する人が多かったのではないのでしょうか。そのせいか、再投票では圧倒的な支持を得ました。
19. アマゾンの火事より怖い台所 (だし＝大野) → 1票
世界の酸素製造所アマゾンの火事は環境問題への影響が懸念され、世界中で話題になりました。それより怖い台所とは想像するだけでも恐ろしいですね。
20. コロナ菌飛び火こわくて閉じこもり (拿々＝塚田) → 4票
コロナウィルス感染症はついに「緊急事態宣言」を発出するに至りました。外出の自粛により、閉じこもり現象です。この句を詠んだときは、それ以前でしたが、作者は飛び火が怖くて自主的に外出を控えていました。
21. もう消えた煩惱の火がぶり返し (安兵衛＝山縣) → 1票
今回の投句会で「煩惱の火がぶり返し」のような趣旨の句が多くありました。皆さん若いと実感するとともに希望も入っているのかなと思いました。「煩惱の火」が消えることはありません。
22. 燎原の火コロナ飛び散り聖火をフュー (井波＝稲宮) → 0票
確かにコロナのおかげでオリンピックは1年延期されてしまいました。しかしアテネで採火された聖火は日本に着いて、暫く次の出番を待ちながら、消えずに灯し続けています。
23. 火遊びが過ぎて労災(老妻)保険出ず (酔深＝平尾) → 3票
保険との繋がりが良く分からないとの声がありました。作者からは「老人のくせに火遊びに夢中になったら、連れ合いからは火傷しても慰めてもらえない」という意味と「折角掛けていた保険の補償もままならない」の意味をかけているとの説明がありました。分かりましたか。
24. 愛の火を守りまもって50年 (曾山＝曾山) → 2票
初参加の曾山さんでしたが、金婚式を平和に迎える愛妻家だと、とても印象に残りました。この先も川柳会に刺激を与えてください。
25. 歳の瀬に残り火消した喪の知らせ (酔雅＝西川) → 2票
ありますよね。私も私より少し若い人の訃音がいくつかあり、思いにふけりました。でも川柳子は元気です。新型コロナウイルス感染症に負けず元気にやりましょう。
26. 火が消えて思索と反省一か月 (晃二＝安藤) → 0票
とても素直な川柳ですね。みんな同じように思っていると思いますが、川柳的な捻りが欲しいですね。火はもっと長く消えそうです。
27. 火種もない噂によるこぶモチぬ奴 (我々好＝浜田) → 1票
作者はペンクラブには欠かせないメンバーで、モチています。また「火のないところに煙は立たず」という言葉もありますよ。

28. 火遊びも過ぎれば世論が水を差す (損得＝細谷) → 3票

「昔は女遊びも芸の肥やしになると大方は見逃してくれたものですが、この頃は週刊誌とネットがうるさくて、世間は世知辛くなりましたね」は作者弁です。あの渋沢栄一さんもこの面ではお盛んだったようですが、2024年から1万円の肖像になります。

投句 14 名＝岩崎洋一郎 (不言)、大野ただし (だし)、曾山清徳 (曾山)、細谷博 (損得)、西川武彦 (酔雅)、浜田道雄 (我々好)、稲宮健一 (井波)、山縣正靖 (安兵衛)、松谷隆 (零門)、安藤晃二 (晃二)、平尾富男 (酔深)、塚田實 (拿々) 三春 (火酒)、八木信男 (明迷)

4 月以降の予定とお題：4 月 28 日 (火) 「水」

5 月 25 日 (月) 「歩く・歩む」

6 月 23 日 (火) 「風」

7 月 27 日 (月) 「傘」

8 月 25 日 (火)

9 月 28 日 (月)

10 月 27 日 (火)

11 月 23 日 (月)

12 月 22 日 (火)